



(様式2)

令和6年3月22日

京丹後市議会議長 様

会 派 名 無会派
代表者氏名 富田恵輔



調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

1 日程

令和5年11月20日(月) 13:30~15:00

2 場所

近畿地方整備局、近畿中部防衛局

3 目的

- ・山陰近畿自動車道の早期全線整備に向けて、近畿地方整備局に対して要望活動を行う。
- ・現在京都府にて整備されている上野平バイパス、一般府道間人大宮線、外村バイパスが早期完成するよう、近畿中部防衛局に対して必要な予算確保と支援を要望する。

4 該当する政務活動費の使途項目

要請・陳情費

5 支出経費の内訳と金額

交通費 4,721 円

バス借り上げ料 参加者人数分によって按分して支払う

6 参加議員名

富田 恵輔

7 活動成果の概要、所見

京丹後市議会の山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟の一員として、11月20日に要望活動として近畿地方整備局、近畿中部防衛局を訪問した。

近畿地方整備局では大宮峰山インターから府県境までの全線を令和10年代に完成するよう具体的な年次計画を立てて時期的な目途を明らかにする事、大宮峰山道路事業が令和8年度には完成する事、網野インターから府県境までを令和6年度に都市計画決定を行うための技術的支援、大宮峰山インターから網野インターまでを令和7年度の料金徴収までに事業化する事を要望した。

その後、近畿中部防衛局に行き、米軍経ヶ岬通信所の設置に伴い、再編交付金、民生安定施設整備事業や障害防止事業等として農林水産業、教育、医療、防災等の事業費に活用させていただいている事や、米軍基地関連道路事業では道路整備を行っていただいている事に感謝を伝え、上野平バイパス、府道間人大宮線、外村バイパス整備、国道178号線の仮称屏風岩橋等への支援要望を行った。

8 成果物、資料等

山陰近畿自動車道の更なる延伸については、整備加速のために令和7年度からの一部利用者負担を甘受したところであり、着実な整備推進と先線の早期ルート決定が求められる。また、山陰近畿自動車道は災害時での緊急輸送道路としても活用が期待できることから、いつ起こるかも知れない災害対策の観点や、コロナ禍からの回復に向けた物流、観光等の経済活動復興のためにも早期完成させることが重要である。

近畿中部防衛局では、上野平バイパス、府道間人大宮線、外村バイパス整備が進み、地元にとっては大きな喜びとなっている感謝と、早期完成に向けた要望を行った。また、防衛省予算活用事業で多くの交付金を受け、住環境整備も進められていることから、米軍基地を受け入れたことで住民への福祉向上に繋がっていることが実感できる。

一方で、仮称「屏風岩橋」については実現が難しいとはっきりと返答があり、実現に向けてはこれまで通りの提案や要望ではなく、別のアプローチが必要であると感じた。